学校番号	T3016

令和８年度　文化理解

教科	文化理解	科目	(学) 日本語Ｂ０２	単位数	１単位	年次	１，２，３，４，年次
使用教科書							
副教材等	門脇薫・西馬薫[著]「みんなの日本語初級　第２版　やさしい作文」（スリーエーネットワーク）他						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

- 「話すこと（やり取り・発表）」、「読むこと」、「書くこと（作文）」という４技能５領域の力をつける授業です。自分の考えや意見を発表したり、書いたりする言語活動を多く行います。
- 日本語の語彙や文法については、実際のコミュニケーションでどのように使われるか、ということを意識して学習しましょう。

2　学習の到達目標

- 身近なトピックに関して簡単な語句や表現を用いて書かれた短い説明や手紙を読み、要点を理解することができる。
- 身近なトピックについて、簡単な語や表現を用いて意見交換をすることができる。
- 他人の見方に対して簡単なコメントができる。
- 夢や希望を述べることができる。
- 身近なトピックについて、理由とともに自分の意見を簡単に話すことができる。
- 身近なトピックについて、簡単な語句や表現を用いて、短い説明文を書くことができる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	日本語の語彙、表現、文法、などの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況に応じて適切に活用できる技能を身につけている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、身近な話題について、日本語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。	日本語の語彙や表現を用いて、日常の経験・感情や出来事を聞き手、読み手、話し手に配慮しながら、書くことについて主体的に取り組む態度を身に付ける。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	手順	ユニット8:旅行	a:手順を説明するための接続詞を使うことができる。 b:旅行の経験について順を追って説明している。 c:旅行経験について主体的に話したり、質問したりしている。	漢字 語彙	読解 作文	作文 スピーキングテスト
	例示	ユニット9:もしわたしが二人いたら	a:「例えば」を使用し例示することができる。 b:自分の希望や意見について話したり、書いたりしている。 c:自分の希望について主体的に話そうとしている。	漢字 語彙	読解 作文	作文 スピーキングテスト
後期	理由説明	ユニット13:わたしの夢	a:将来の希望や計画に関する語句の意味や使い方を理解している。 b:自分の夢について主体的に話したり、書いたりしている。	漢字 語彙	読解 作文	作文 スピーキングテスト
	手紙表現	ユニット6:はがき ユニット15:手紙	a:手紙を書くための形式と表現について理解している。 b:手紙の形式を使いながら、近況や気持ちを書いている。 c:先生や友人に主体的に手紙を書いている。	漢字 語彙	読解 作文	作文 発表
後期	比較	ユニット17:交通　国との比較	a:比較表現について理解している。 b:比較表現を使いながら自分の意見を述べている。 c:交通について主体的に質問したり、話したりしている。	漢字 語彙	読解 作文	作文 スピーキングテスト

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度